横田、空自に航空医療搬送を実演

Yokota, JASDF complete AE familiarization missions

April 5, 2016

Original text by Osakabe Yasuo
374th Airlift Wing Public Affairs

航空自衛隊第402飛行隊（入間基地）が3月30日、横田基地第459空輸中隊を訪れ、米軍の航空医療搬送の手順を視察した。

（写真1）入間基地第402飛行隊のメンバーに航空医療搬送の任務について話す、横田基地第459空輸中隊司令ウィリアム・マーティン中佐。

第459空輸中隊は、C-12ヒューロンを使った航空医療搬送の実演を行い、自衛官にその方法や搬送に使うスペクトラム・ベッドを紹介した。

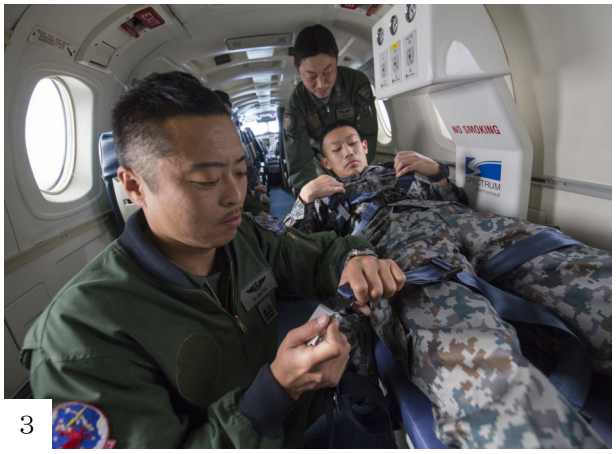
1

（写真2）航空医療搬送に使うスペクトラム・ベッドの機能について、航空自衛隊のC-1パイロットとC-1、U-4ロードマスターに話す、第459空輸中隊C-12パイロットのアンソニー・パーゴラ中尉（左）。

同中隊は、自衛官にC-12を使った航空医療搬送の方法を実演し、相互理解を深める交流を図った。

2

（写真3）C-12ヒューロンの機内で、航空医療搬送用スペクトラム・ベッドに横たわる患者に扮した隊員のベルトを締める航空自衛隊第402飛行隊長（左）。



3